

改善箇所説明図

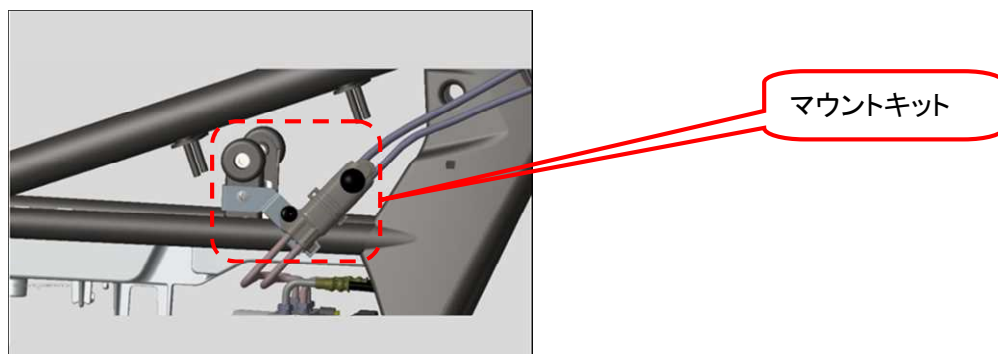


基準不適合発生箇所

制動装置において、ABSフロントブレーキパイプの配索が不適切なため、エンジン振動等により、当該パイプが二次空気導入装置と接触し、損傷することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、パイプの損傷部からブレーキフルードが漏れ、最悪の場合、フロントブレーキが効かなくなるおそれがある。

改善の内容

全車両、ABSフロントブレーキパイプに接触防止用のマウントキットを取付ける。なお、当該パイプが損傷している場合は、当該パイプを新品に交換し、マウントキットを取り付ける。



識別

対策後はマウントキットが付いており、容易に確認できることから特別な識別は行わない。